

ウォータープルーフケース マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつも見られるところに必ず保管してください。

MPK-THJ

© 2010 Sony Corporation Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油インキを使用しています。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをする、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

①電源を切る
②ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

行為を指示する記号



注意

△警告 下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う

注意を怠ると、潜水事故の原因となります。

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合

あわせて身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を作り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。



注意

△注意 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

主な特長

- このマリンパック（以下本機とする）はソニーのデジタルスチルカメラ（以下カメラとする）DSC-TX7/TX5専用です。（対象のカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。）
- お手持ちのカメラを本機に取り付けると、海辺（水中では水深40m以内）また雪や雨などの悪天候時の撮影ができます。
- カメラを（水中）または（水中）に設定し、本機をお使いになると、水中をきれいに撮影できます。

取り扱い上の注意

- フロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”の交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 40°Cを超える温水の中
 - 0°C以下の場所
 結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35°Cを超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のある場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がる上自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- 飛行機に持ち込む場合には、付属のスペーサーを使用し本機を開いた状態にしてください。密閉状態の場合、気圧の変化で開けにくくなる場合があります。「保管するときは」のイラストの状態で機内に持ち込むことをおすすめします。

Oリング（オーリング）のはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。
必ず確認したあとに、ご使用ください。
詳しくは、Oリングメンテナンスマニュアルをお読みください。

本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

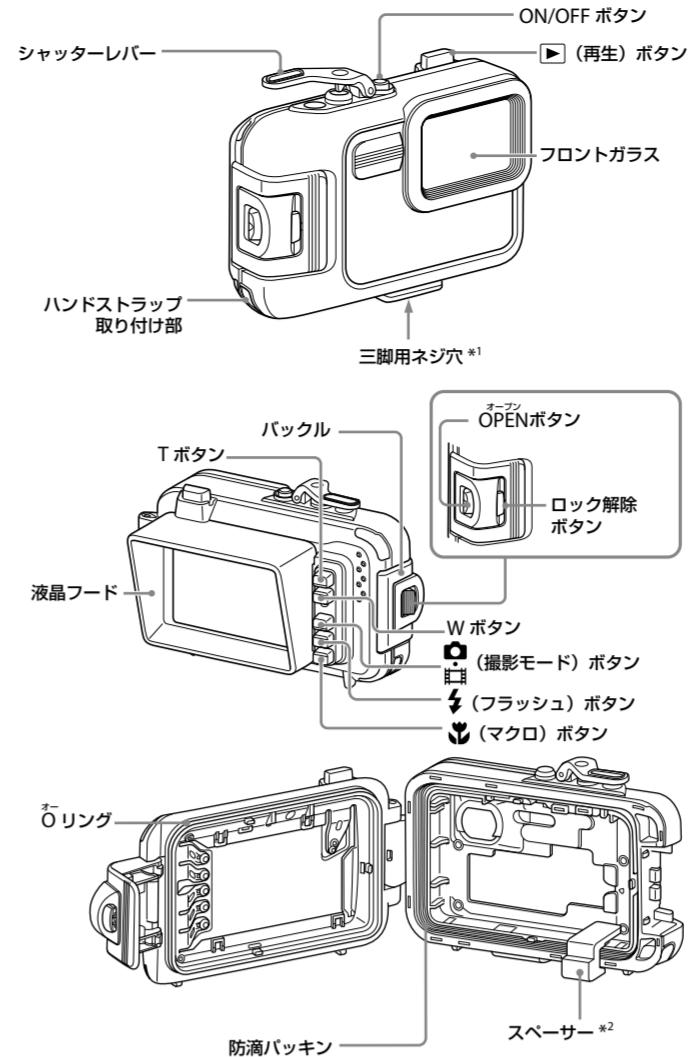
水漏れについて

万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

フロントガラスのくもり止めについて

- カメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。
- 付属の乾燥剤を撮影の1～2時間前に入れてください。
- 未使用の乾燥剤は袋に入れ、入り口を密封して保存してください。乾燥剤は充分に乾燥されることにより、繰り返し約200回使用することができます。

各部の名前



*1 三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm未満のものをお使いください。
*2 ご使用になるときは取りはずしてください。

お使いになる前に必ずお読みください

- ご使用前に必ず本機にて試し撮りをおこない、正常に再生できることを確認してください。
- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、カメラが正常に作動するか、また本機に水漏れないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一、本機の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（カメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- DSC-TX5をお使いの場合は、必ずカメラを充分に乾燥させた状態で本機に取り付けてください。

Oリング／防滴パッキンについて

Oリングについて

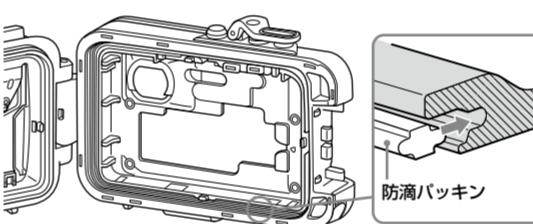
本機はOリングを使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。

Oリングの取り扱いかたが不適切だと水漏れの原因になります。

防滴パッキンについて

防滴パッキンは、本体からはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。

万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。



Oリングと防滴パッキンの耐用年数

Oリング

本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン

防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れします。

お手入れのしかた

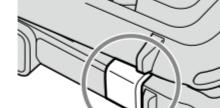
- 海でのご使用後は、必ずパッセルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂を拭いてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いしないでください。

上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- 本機の劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- Oリングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。パッセルは締めないでください。

• 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けください。

ダイビングの前に

- 中水撮影する前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないかを確認してから潜水を始めてください。
- カメラは、ダイビングの前にあらかじめ本機に取り付け、船上や海岸などで本機の開閉は、できるだけ避けてください。カメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ない室内で行ってください。
- ご使用の前に、本機の前後のボディの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用の前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。
- 水中で撮影するときは、（水中）、または（水中）をお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真正にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

- 本機内部に水滴がつく
 - Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
 - Oリングを正しく装着する。
 - パッセルをカチッとロックされるまで締める。
 - 充分に乾燥した乾燥剤を使う。
- 撮影ができない
 - バッテリーを充分に充電する。
 - メモリースティック デュオの残量がない場合、別のメモリースティック デュオを入れる。または不要なデータを消す。
 - メモリースティック デュオの誤消去防止スイッチを戻す。または別のメモリースティック デュオを入れる。
 - カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しいところに置く。
- 撮影モードで、フラッシュ、マクロボタンを押しても、モードが切り替わらない
 - タッチパッドでは現状設定が表示されるのみのため、設定が表示されている間に、もう一度ボタンを押す。
- 色がおかしい（水中での使用時）
 - （水中）、または（水中）に設定されているか確認する。
 - 水中ホワイトバランスを確認する。（水中ホワイトバランスは「オート」をおすすめします。設定方法はお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。）

主な仕様

材質

プラスチック(PC、ABS)、ガラス

防水構造

Oリング、パッセル

耐圧

水深40mまで

外部より操作可能なボタン

ON/OFFボタン、シャッターレバー、再生、ズーム(W/T)、撮影モード、フラッシュ、マクロ

外形寸法(最大突起部を除く)

約134×96×46 mm(幅／高さ／奥行き)

質量

約310 g(本体のみ)

同梱物

ウォータープルーフケース(1)

ハンドストラップ(1)

液晶フード(1)

フロントアタッチメントF(1)*

リアアタッチメントF(1)*

*お買い上げ時にウォータープルーフケースに装着されています。

フロントアタッチメントG(1)

リアアタッチメントG(1)

グリス(1)

Oリング(1)

乾燥剤(2個入り)(1)

スペーサー(1)

印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

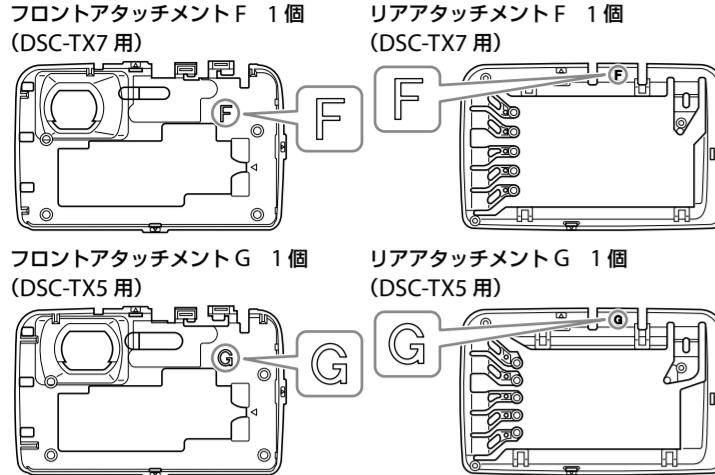
保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げより1年間です。

アフターサービス

準備

アタッチメント形状



アタッチメントを取り換える

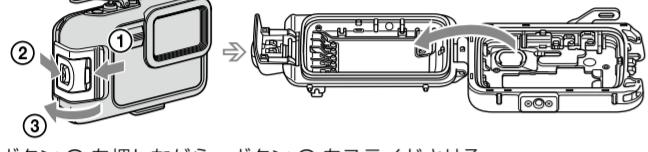
アタッチメントを取り換える際は、無理な力を加えないでください。

* 買い上げ時は、DSC-TX7 用にアタッチメント F を取り付けてあります
ので、DSC-TX7 をお使いのかたは以下の手順は不要です。

必ずカメラに対応したアタッチメントを取り付けてください。

対応していないアタッチメントを取り付けると、カメラの故障や水漏れの原因になります。

1 本機を開ける。



ボタン ①を押しながら、ボタン ②をスライドさせる。
パッケルを ③の方向にあけ、本機を開く。

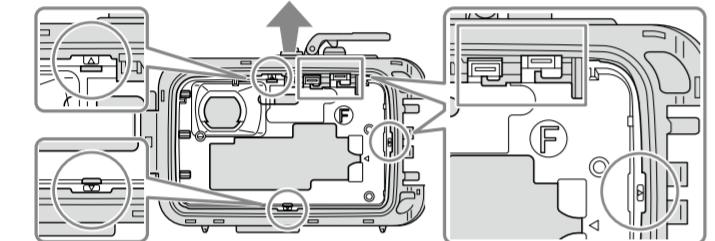
ご注意

スペーサーは、本機を保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

2 アタッチメントを取り換える。

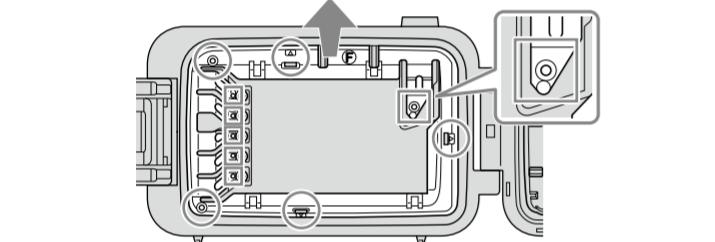
● DSC-TX7 用のフロントアタッチメント F、リアアタッチメント F を取りはずす

フロント部



図の□印部分(2箇所)をはずし、○印部分(3箇所)を引き上げてください。

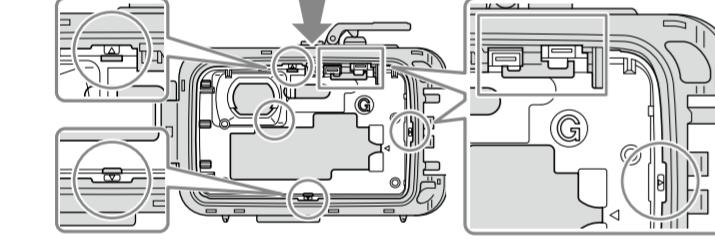
リア部



図の□印部分(6箇所)をはずし、○印部分(5箇所)を引き上げてください。

● DSC-TX5 用のフロントアタッチメント G、リアアタッチメント G を取り付ける

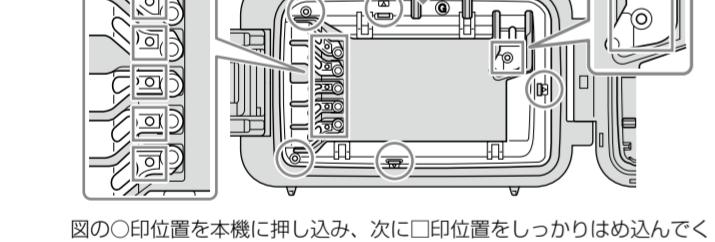
フロント部



図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。

リア部

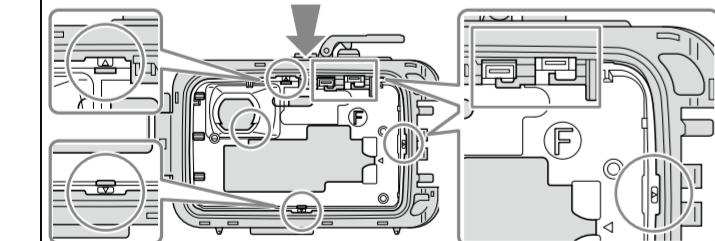


図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

アタッチメント交換後、本機の操作ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

● DSC-TX7 用のフロントアタッチメント F、リアアタッチメント F を再度取り付ける場合

フロント部

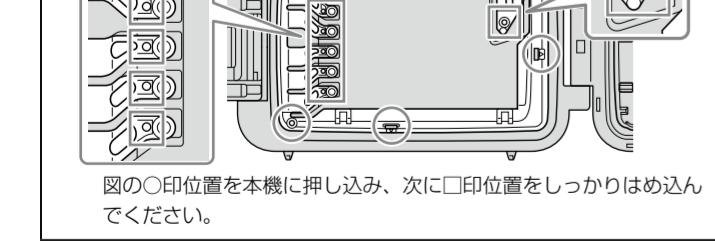


図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

アタッチメント交換後、本機の操作ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

● DSC-TX5 用のフロントアタッチメント G、リアアタッチメント G を再度取り付ける

リア部



図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

* アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

Oリングと防滴パッキンの準備

1 Oリングを取りはずす。

2 Oリングにグリスを塗る。

Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

3 Oリングを取り付ける。

4 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意

・防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。

・砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。

Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

カメラの準備

カメラを本機に取り付けて使用するには、カメラのハウジング設定を「入」にする必要があります。詳しくは、下記の手順をご覧ください。

- カメラの取り付けは、温湿度の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、本機前部のくもりの原因となります。
- DSC-TX5をお使いの場合は、必ずカメラを充分に乾燥させた状態で本機に取り付けてください。

カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 カメラのストラップをはずす。

2 バッテリー、「メモリースティックデュオ」を入れる。

充分に充電してあるバッテリーを入れてください。

3 レンズカバーを下げ、電源を入れる。

レンズカバーを下げるときは、レンズに触れないように注意してください。

4 ハウジング設定を「入」にする。

ハウジング設定が「入」になっていることを確認してください。

ハウジングの設定方法

MENU → [設定] → [本体設定] → [ハウジング] → [入]

• 設定後、カメラの使える機能が制限されます。

使用できる外部ボタン

ON/OFF(電源)ボタン、シャッターボタン、再生ボタン

使用できる液晶画面上ボタンの機能

撮影モード：[MENU]「撮影」再生切り替え」「T」「W」「モード切り替え」「フラッシュ」「マクロ」

再生モード：[MENU]「撮影」再生切り替え」「再生ズーム」「動画再生／停止(動画再生時)」「画送り」「画戻し」「削除」

• 本機取り付け後は、MENUボタンは使用できません。

5 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

ご注意

• 水中ホワイトバランスは「オート」をおすすめします。設定方法はお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

• 連写の設定をする場合は、ハウジング設定前に行ってください。本機装着後は、「記録中断」のみ操作できます。

• AFイルミネーターは使用できません。ハウジングモードに設定すると、自動的にAFイルミネーターが「切」の状態になり使用できなくなります。

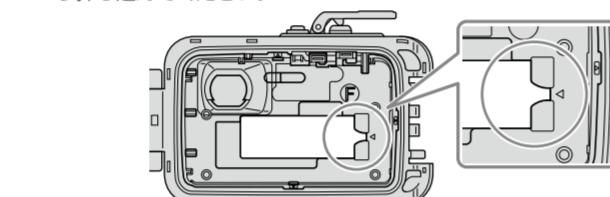
カメラを本機に取り付ける

ここではDSC-TX7使用時のイラストで説明しています。

1 本機を開ける。

2 乾燥剤を取り付ける。

本機フロント部の乾燥剤スペースに乾燥剤を置き、フロントアタッチメントの部分で押さええてください。乾燥剤は、イラストのように右端までしっかりと押し込んでください。

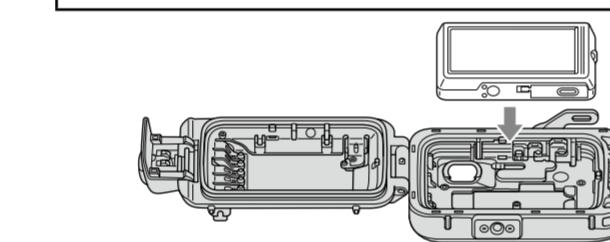


* 付属の乾燥剤は撮影の1~2時間前に入れてください。

3 カメラのON/OFF(電源)ボタンを押して電源を「OFF」にする。

4 本機にカメラを取り付ける。

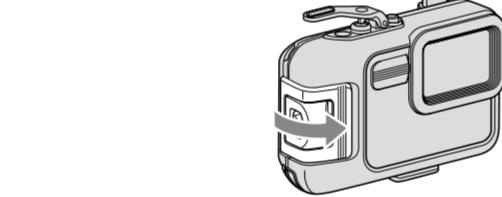
カメラのレンズカバーは下げた状態にしてください。レンズカバーが上がった状態で無理に本機を閉じようすると故障の原因になります。
カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



カメラが正しく入っているか確認してください。

5 ボディを閉じて、パッケルを締める。

ボディをしっかり押さえ、パッケルがカチッとロックされるまで押してください。



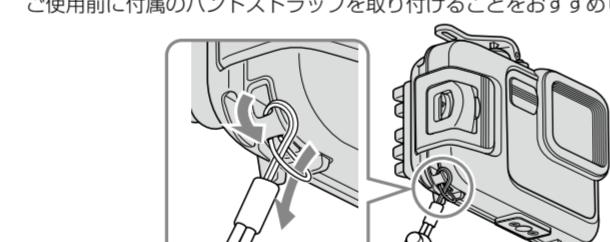
ご注意

本機のボディを閉じるときに、Oリングの表面と本機の溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

付属品を取り付ける

ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



ご注意

本機のボディを閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

液晶フードの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

1 付属の脱落防止ひもを取り付ける。

2 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込む。



ご注意

本機のボディを閉じるときに、脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

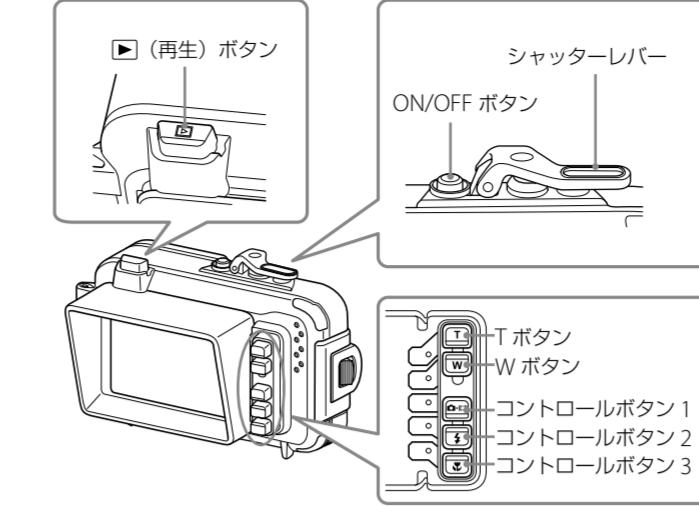
取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。

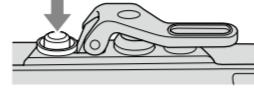


本機を使う

撮影する



1 電源を入れる。



2 撮影状態を設定する。

本機のコントロールボタンを押し、各撮影状態を設定します。

コントロールボタンの操作方法

コントロールボタンを押すときは、ゆっくり押してください。

画面上のアイコン表示

1回目 . . . 現状の設定を表示するのみ。



2回目 . . . モード画面が表示されます。



本機で使用できるモード

コントロールボタン1	コントロールボタン2	コントロールボタン3
撮影モード	フラッシュ	マクロ
おまかせオート撮影	AUTO(オート)*4 強制発光*4 発光禁止	AUTO(オート) 拡大鏡入
(水中)*1	強制発光 発光禁止	AUTO(オート) マクロ
(ビーチ)	強制発光 発光禁止	-
(スノー)	強制発光 発光禁止	-
(パノラマ)*2	-	-
オート*3	-	-
(水中)*1, *3	-	-

*1 水中の撮影は、(水中)または(水中)での撮影をおすすめします。

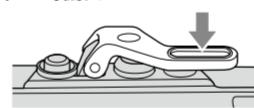
*2 (スイングパノラマ)はDSC-TX5のみの機能です。(スイングパノラマ)は水中ホワイトバランスに対応しています。水中でパノラマ撮影する際は、体を安定させて撮影することをおすすめします。

*3 動画撮影については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

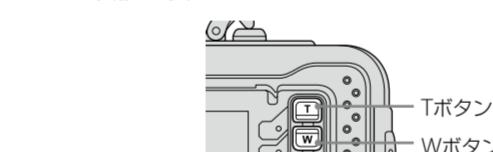
*4 AUTO(オート)撮影時は、強制発光には設定できません。また、マクロ(拡大鏡入)撮影時にはAUTO(オート)には設定できません。

カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 シャッターレバーを押して撮影する。



ズーム機能を使う



Tボタンを押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

Wボタンを押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

ご注意

•撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消費を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。

•カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。

•本機でフラッシュ撮影を行う場合、フラッシュ到達距離が短くなり全体的に暗くなる傾向があるため、撮影環境(真っ暗な場所など)によっては撮影距離が大幅に短くなることがあります。その場合は外付けの水中ライトやフラッシュの併用をおすすめします。

•水中でフラッシュを発光すると、水中の浮遊物に反射して、多数の丸い光として撮影